



公益社団法人  
**日本美術教育連合**  
**ニュース**

No.132  
2011.7

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1 (財)日本教育研究連合会第2研究室内  
公益社団法人 日本美術教育連合

発行人 理事長 宮坂元裕  
ニュース担当 北川智久

E-Mail: kitagawa@elementary-s.tsukuba.ac.jp

## 巻頭言

公益社団法人日本美術教育連合理事長 宮坂元裕

東日本大震災は1000年に一度の地震と世界最悪の原発事故による、いまだかつて経験したことのない大惨事となりました。お亡くなりになりました皆様に心より哀悼の意を奉げます。特に一瞬のうちに命を奪われた子どもたちは不憫でなりません。

さてこのような状況の中で公益社団法人日本美術教育連合はいよいよ活動を始めました。

すべて暗中模索というところですが、全国に「既に」ある24000団体の法人を公益と一般に分けるのですから、日本美術教育連合は美術教育界唯一の公益社団法人ということだけは確実です。いくつもある団体の中で唯一ということは、他の団体との差、あるいは有意性を起爆剤として今までになかった特色ある活動を会員皆様のお力で構築できるということです。

今後一層の御支援御協力をお願い申し上げます。

さて、公益社団法人日本美術教育連合には利点と弱点の両方が少しずつあります。弱点は「連合」という言葉が誤解を生みやすいことです。あえて残したのは、後に続く人々が、やがて美術教育に携わる全ての団体と個人の連合体を目指すことを理想としているからです。

利点は美術教育界に今後、公益法人になるであろう二つの財団とともに税制的優遇を受けるといことです。

このことは、やがて他の団体にはない有利さを発揮するでしょう。

この会は「年会費」と「税金がほとんどかからない寄付」（税金が還付されます）によって成り立っています。飛躍するために、ぜひ御協力をお願い申し上げます。

---

## 第45回 日本美術教育研究発表会 案内

1. 日 時 平成23年10月16日(日) 午前9時～午後5時30分
2. 会 場 東京家政大学板橋キャンパス (〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1)
3. 主 催 公益社団法人 日本美術教育連合 (InSEA-JAPAN)
4. 後 援 文部科学省 (申請中)

(19ページの関連記事詳細をご参照ください)

## 通常総会・祝賀会の記録

### — 第1回 通常総会 —

最初に理事長の挨拶がありました。概略は、「平成23年3月日本美術教育連合は公益社団法人となりました。内閣総理大臣の印が押された認定書を手にして感じたことがあります。それは、そもそもこの法律が税制的優遇処置を行ってきた全国24000あまりある社団、財団の法人を現在の五分の一程度に削減しようという税制改革であるということです。日本美術教育連合が35年以上地道に行ってきた先輩たちの公益活動が国によって認められたこととなります。公益法人になるため私たちは小林国利公認会計士事務所に御協力をお願いしました。会計士事務所は、定款の改定や、会計の適正化など献身的にご指導ご協力をいただきました。感謝申し上げます。そしてこのことに関わった18名の役員の皆様に感謝申し上げます。」というものでした。その後、林 耕史氏を議長に選出し滞りなく総会は終了しました。

内容は今回の連合ニュースに掲載してあります。

### — 公益社団法人設立祝賀会 —

その後、公益社団法人設立祝賀会に移り、集まった40人以上の全員が、それぞれ約3分間ずつ発言し、山口喜雄氏の名司会で、5時30分定刻通り閉会しました。

以下、紙数の許す限り順不同で出されたご意見を採録し、大まかにまとめてみました。（公益社団法人日本美術教育連合は以下連合と省略します）

- 美術の重要性と美術教育の重要性は異なっている。社会は美術教育に何をもとめているか把握する必要がある。そのニーズに合わせて連合は変容していかなければならない。
- 連合は内部で固まり、それに満足するのではなく外に開かれ、常に発信を続ける場でありたい。
- 研究論集は発行を続けたいが、誰でも応募できるシステムの構築と、質的に高い水準を保つようにしたい。論文応募者に論文の書き方などを指導している団体は連合以外思いつかない。公平性を保ちながらぜひこのことは続けたい。
- 大学の教員養成がますます弱体化し、15回の講義で図画工作の授業を行わなければならない時代になった。授業者として自信を持って子どもの前に立てる教師を育成するための手助けを連合はになうべきである。
- 世界の空港の中には、その地区の中心となる HUB 空港がある。連合は美術教育の HUB にならなければならない。
- 免許更新制度につながるような講座を作りたい。
- 日本の美術教育の成果を世界に輸出したい。

- 地方に出張するキャラバン隊を作りたい。
- インターネットを活用し、全国に情報網を広げたい。
- 公益社団法人になったのだから一般市民に開くしかない。そのためにはマネージメントの能力を強化する必要がある。
- 幼保の会員が少ない。幼稚園や保育園への働きかけを積極的に行い、例えば実践事例の共有化などができればいいと思う。
- 連合としての理念の構築（再構築）が必要であり、そのことを会員全員が共有できるようにならないといけない。
- 会計処理能力が一段と飛躍している。この水準をいつまでも維持してもらいたい。これからの連合は経営能力（マネージメント）の強化にかかっている。
- この会が今日あるのは先代の美工堂・吉川親助氏の献身的努力によるところが大きい。また歴代の理事長、役員らの努力を忘れてはならない。

以下、割愛せざるを得ませんが、歌あり、笑いあり、涙ありの和気あいあいとした雰囲気の中で、あっという間に時間が過ぎました。

（文責 宮坂元裕）



## 平成 22 年度 事業報告

### 平成 22 年

- 4月25日(日) 会計監査 藤崎典子 山田一美両監事による会計監査
- 4月25日(日) 常任理事会 第1回理事会 筑波大学附属小学校工作室  
(議事録あり)
- 5月 9日(日) 第46回通常総会 東京国立近代美術館講堂  
(議事録あり/提出済み)
- 講演会 講師 東京造形大学学長 諏訪敦彦先生
- 5月 文部科学省に社団法人関係書類提出 理事長 事務局長
- 7月 連合ニュース129号発行
- 7月17日(土) 常任理事会 第2回理事会 筑波大学附属小学校工作室  
(議事録あり)
- 8月29日(日) 常任理事会 第3回理事会 日本美術教育研究論集編集委員会  
筑波大学附属小学校工作室  
(議事録あり)
- 9月 連合ニュース130号発行
- 10月24日(日) 文部科学省後援 第44回日本美術教育研究発表会 武蔵野美術大学
- 11月 4日(木) 中学校美術授業研究会 坂戸市立住吉中学校
- 11月 9日(火) 日本美術教育研究論集44 論文応募締切り
- 11月13日(土) 日本美術教育研究論集編集委員会(投稿論文を査読者に郵送)  
筑波大学附属小学校
- 11月28日(日) 造形教育実践セミナー 前田正子氏 どりん堂てんしのあーと
- 12月12日(日) 常任理事会 第4回理事会 日本美術教育研究論集編集委員会  
造形・美術教育フォーラム「評価の生きる図画工作・美術の授業」  
(岡田京子氏、中村みどり氏、兒崎帛子氏) 東京家政大学

### 平成 23 年

- 1月29日(土) 常任理事会 第5回理事会 日本美術教育研究論集編集委員会  
筑波大学附属小学校  
(議事録あり)
- 2月 連合ニュース131号発行
- 3月25日(金) 公益社団法人日本美術教育連合 設立
- 3月31日(木) 日本美術教育研究論集43 発行

(3月25日～31日 公益社団法人日本美術教育連合1年目となる)

# 貸借対照表

平成23年3月13日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	636,600	796,837	△160,237
流動資産合計	636,600	796,837	△160,237
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定期預金	2,600,000	2,600,000	0
図書	2,500,000	2,500,000	0
基本財産合計	5,100,000	5,100,000	0
(2) 特 定 資 産			
新事業準備預金	25,221	21,966	3,255
特定資産合計	25,221	21,966	3,255
固定資産合計	5,125,221	5,121,966	3,255
資産合計	5,761,821	5,918,803	△156,982
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	0	682,240	△682,240
借入金	550,000	0	550,000
流動負債合計	550,000	682,240	△132,240
負債合計	550,000	682,240	△132,240
III 正味財産の部			
1. 一 般 正 味 財 産	5,211,821	5,236,563	△24,742
(うち特定資産への充当額)	(25,221)	(21,966)	3,255
正味財産合計	5,211,821	5,236,563	△24,742
負債及び正味財産合計	5,761,821	5,918,803	△156,982

# 正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月13日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,249	10,275	△7,026
② 受取入会金			
受取入会金	27,000	51,000	△24,000
③ 受取会費			
受取正会員会費	790,000	985,000	△195,000
受取賛助会員会費	160,000	155,000	5,000
④ 事業収益			
論集広告料	195,000	170,000	25,000
論集掲載料	167,000	193,500	△26,500
⑤ 受取補助金等			
寄付金収入	0	2,700,000	△2,700,000
受取利息	83	519	△436
雑収益	18,403	55,664	△37,261
経常収益計	1,360,735	4,320,958	△2,960,223
(2) 経常費用			
① 事業費			
印刷製本費	121,000	770,350	△649,350
通信運搬費	152,210	259,230	△107,020
賃借料費	24,000	64,000	△40,000
諸謝金	84,000	54,000	30,000
資料費	0	104,300	△104,300
会議費	10,952	16,936	△5,984
雑支出	2,520	5,370	△2,850
② 管理費			
給料手当	0	10,000	△10,000
会議費	209,557	209,751	△194
旅費交通費	8,430	35,100	△26,670
通信運搬費	43,210	3,860	39,350
消耗品費	0	22,500	△22,500
印刷製本費	69,825	27,825	42,000
支払負担金	108,483	138,682	△30,199
計算書類作成費	545,630	178,500	367,130
雑費	5,660	18,745	△13,085
経常費用計	1,385,477	1,919,149	△533,672
当期経常増減額	-24,742	2,401,809	△2,426,551
当期一般正味財産増減額	-24,742	2,401,809	△2,426,551
一般正味財産期首残高	5,236,563	2,834,754	2,401,809
一般正味財産期末残高	5,211,821	5,236,563	△24,742
正味財産期末残高	5,211,821	5,236,563	△24,742

## 財務諸表に対する注記

1. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	2,600,000	0	0	2,600,000
図書	2,500,000	0	0	2,500,000
小計	5,100,000	0	0	5,100,000
特定資産				
新事業準備預金	21,966	3,255	0	25,221
小計	21,966	3,255	0	25,221
合計	5,121,966	3,255	0	5,125,221

2. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	2,600,000	0	2,600,000	0
図書	2,500,000	0	2,500,000	0
小計	5,100,000	0	5,100,000	0
特定資産				
新事業準備預金	25,221	0	25,221	0
小計	25,221	0	25,221	0
合計	5,125,221	0	5,125,221	0

# 財 産 目 録

平成23年3月13日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資 産 の 部		
1. 流 動 資 産		
現金預金		
現金 手許有高	20,430	
通常預金 ゆうちょ銀行	365,889	
振替貯金 ゆうちょ銀行	250,281	
流動資産合計		636,600
2. 固 定 資 産		
(1) 基 本 財 産		
定期預金 三菱信託銀行 上野支店	2,600,000	
図書(山形文庫)2,003冊 筑波大学芸術学系保管	2,500,000	
基本財産合計	5,100,000	
(2) 特 定 資 産		
新事業準備預金 三菱信託銀行 上野支店	25,221	
特定資産合計	25,221	
固定資産合計		5,125,221
資 産 合 計		5,761,821
II 負 債 の 部		
1. 流 動 負 債		
借 入 金		
宮坂元裕	250,000	
西村德行	300,000	
流動負債合計		550,000
負 債 合 計		550,000
正 味 財 産		5,211,821



# 収 支 計 算 書

平成22年4月1日から平成23年3月13日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入				
基本財産受取利息収入	4,000	3,249	751	
②受取入会金収入				
受取入会金収入	30,000	27,000	3,000	
③受取会費収入				
受取正会員会費収入	1,150,000	790,000	360,000	
受取賛助会員会費収入	200,000	160,000	40,000	
④事業収入				
論集広告料収入	200,000	195,000	5,000	
論集掲載料収入	220,000	167,000	53,000	
⑤受取補助金等収入				
受取利息収入	1,000	83	917	
雑収入	0	18,403	△18,403	
事業活動収入計	1,805,000	1,360,735	444,265	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
通信運搬費支出	300,000	152,210	147,790	
消耗品費支出	2,000	0	2,000	
印刷製本費支出	800,000	121,000	679,000	
賃借料費支出	50,000	24,000	26,000	
諸謝金支出	100,000	84,000	16,000	
資料費支出	5,000	0	5,000	
会議費支出	90,000	10,952	79,048	
雑支出	0	2,520	△2,520	
②管理費支出				
会議費支出	90,000	209,557	△119,557	
旅費交通費支出	20,000	8,430	11,570	
通信運搬費支出	40,000	43,210	△3,210	
消耗品費支出	10,000	0	10,000	
印刷製本費支出	20,000	69,825	△49,825	
負担金支出	125,000	108,483	16,517	
計算書類作成費支出	130,000	545,630	△415,630	
雑費支出	10,000	5,660	4,340	
事業活動支出計	1,792,000	1,385,477	406,523	
事業活動収支差額	13,000	△24,742	37,742	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
新規事業準備預金積立	0	3,255	△3,255	
投資活動支出計	0	3,255	△3,255	
投資活動収支差額	0	△3,255	3,255	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
借入金収入	0	550,000	△550,000	
財務活動収入計	0	550,000	△550,000	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	550,000	△550,000	
IV 予備費支出				
予備費支出計	100,000	0	100,000	
当期収支差額	△87,000	522,003	△609,003	
前期繰越収支差額	114,597	114,597	0	
次期繰越収支差額	27,597	636,600	△609,003	

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未払金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下表2.に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	796,837	636,600
合 計	796,837	636,600
未 払 金	682,240	0
合 計	682,240	0
次期繰越収支差額	114,597	636,600

## 会計監査報告書

平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月13日）の事業報告並びに収支計算書につき監査の結果、予算執行、経理事務処理等が適正であることを認めます。

平成23年4月24日

社団法人 日本美術教育連合

監事 山田一美 

監事 藤崎典子 

## 収 支 予 算 書

平成23年3月14日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	0	4,000	△4,000
② 受取入金			
受取入金	3,000	30,000	△27,000
③ 受取会費			
受取正会員会費	50,000	1,150,000	△1,100,000
受取賛助会員会費	10,000	200,000	△190,000
④ 事業収益			
論集広告料	10,000	200,000	△190,000
論集掲載料	10,000	220,000	△210,000
⑤ 受取補助金等			
受取利息	0	1,000	△1,000
経常収益計	83,000	1,805,000	△1,722,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
消耗品費	500	2,000	△1,500
印刷製本費	33,000	800,000	△767,000
通信運搬費	13,000	300,000	△287,000
賃借料費	2,000	50,000	△48,000
諸謝金	2,000	100,000	△98,000
資料費	1,000	5,000	△4,000
会議費	3,500	90,000	△86,500
② 管理費			
会議費	5,000	90,000	△85,000
旅費交通費	3,000	20,000	△17,000
通信運搬費	3,000	40,000	△37,000
消耗品費	3,000	10,000	△7,000
印刷製本費	1,000	20,000	△19,000
支払負担金	6,000	125,000	△119,000
計算書類作成費	6,000	130,000	△124,000
雑費	1,000	10,000	△9,090
経常費用計	83,000	1,792,000	△1,709,000
当期経常増減額	0	13,000	△13,000
当期一般正味財産増減額	0	13,000	△13,000
一般正味財産期首残高	5,211,821	5,236,563	△24,742
一般正味財産期末残高	5,211,821	5,249,563	△37,742
正味財産期末残高	5,211,821	5,249,563	△37,742

# 貸借対照表

平成23年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	614,590	636,600	△22,010
流動資産合計	614,590	636,600	△22,010
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定期預金	2,600,000	2,600,000	0
図書	2,500,000	2,500,000	0
基本財産合計	5,100,000	5,100,000	0
(2) 特 定 資 産			
新事業準備預金	25,221	25,221	0
特定資産合計	25,221	25,221	0
固定資産合計	5,125,221	5,125,221	0
資産合計	5,739,811	5,761,821	△22,010
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	548,455	0	548,455
借入金	550,000	550,000	0
流動負債合計	1,098,455	550,000	548,455
負債合計	1,098,455	550,000	548,455
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	4,641,356	5,211,821	△570,465
(うち特定資産への充当額)	(25,221)	(25,221)	0
正味財産合計	4,641,356	5,211,821	△570,465
負債及び正味財産合計	5,739,811	5,761,821	△22,010

## 正味財産増減計算書

平成23年3月14日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	0	3,249	△3,249
② 受取入会金			
受取入会金	0	27,000	△27,000
③ 受取会費			
受取正会員会費	30,000	790,000	△760,000
受取賛助会員会費	0	160,000	△160,000
④ 事業収益			
論集広告料	20,000	195,000	△175,000
論集掲載料	0	167,000	△167,000
⑤ 受取補助金等			
受取利息	0	83	△83
雑収益	0	18,403	△18,403
経常収益計	50,000	1,360,735	△1,310,735
(2) 経常費用			
① 事業費			
印刷製本費	594,675	121,000	473,675
通信運搬費	21,270	152,210	△130,940
賃借料費	0	24,000	△24,000
諸謝金	0	84,000	△84,000
会議費	0	10,952	△10,952
雑支出	420	2,520	△2,100
② 管理費			
会議費	0	209,557	△209,557
旅費交通費	0	8,430	△8,430
通信運搬費	0	43,210	△43,210
印刷製本費	0	69,825	△69,825
支払負担金	4,100	108,483	△104,383
計算書類作成費	0	545,630	△545,630
雑費	0	5,660	△5,660
経常費用計	620,465	1,385,477	△765,012
当期経常増減額	-570,465	-24,742	△545,723
当期一般正味財産増減額	-570,465	-24,742	△545,723
一般正味財産期首残高	5,211,821	5,236,563	△24,742
一般正味財産期末残高	4,641,356	5,211,821	△570,465
正味財産期末残高	4,641,356	5,211,821	△570,465

## 財務諸表に対する注記

### 1. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	2,600,000	0	0	2,600,000
図書	2,500,000	0	0	2,500,000
小計	5,100,000	0	0	5,100,000
特定資産				
新事業準備預金	25,221	0	0	25,221
小計	25,221	0	0	25,221
合計	5,125,221	0	0	5,125,221

### 2. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	2,600,000	0	2,600,000	0
図書	2,500,000	0	2,500,000	0
小計	5,100,000	0	5,100,000	0
特定資産				
新事業準備預金	25,221	0	25,221	0
小計	25,221	0	25,221	0
合計	5,125,221	0	5,125,221	0

# 財 産 目 録

平成23年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金 手許有高	14,840	
通常預金 ゆうちょ銀行	299,469	
振替貯金 ゆうちょ銀行	300,281	
流動資産合計		614,590
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金 三菱信託銀行 上野支店	2,600,000	
図書(山形文庫)2,003冊 筑波大学芸術学系保管	2,500,000	
基本財産合計	5,100,000	
(2) 特定資産		
新事業準備預金 三菱信託銀行 上野支店	25,221	
特定資産合計	25,221	
固定資産合計		5,125,221
資産合計		5,739,811
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
上武印刷(株) 論集第44号 印刷, 送料他	548,455	
借入金		
宮坂元裕	250,000	
西村德行	300,000	
流動負債合計		1,098,455
負債合計		1,098,455
正味財産		4,641,356

## 会 計 監 査 報 告 書

平成22年度（平成23年3月14日～平成23年3月31日）の事業報告並びに収支計算書につき監査の結果、予算執行、経理事務処理等が適正であることを認めます。

平成23年4月24日

公益社団法人 日本美術教育連合

監事 藤崎典子 

監事 山田一美 

## 平成 23 年度 事業計画

### 平成 23 年

- 4月24日(日) 会計監査 藤崎、山田 両監事による会計監査
- 4月24日(日) 理事会 運営委員会 筑波大学附属小学校工作室
- 5月 8日(日) 公益社団法人 日本美術教育連合 第1回通常総会・フォーラム  
アルカディア市ヶ谷
- 7月 連合ニュース132号発行(公益社団法人記念号)
- 7月16日(土) 理事会 運営委員会 選挙管理委員会設立  
筑波大学附属小学校工作室
- 8月28日(日) 理事会 運営委員会 日本美術教育研究編集委員会  
筑波大学附属小学校工作室
- 9月 連合ニュース133号発行
- 9月～12月 造形教育実践セミナー開催
- 10月16日(日) 第45回日本美術教育研究発表会 東京家政大学
- 11月 役員選挙投票用紙発送
- 11月 8日(火) 日本美術教育研究論集45号 論文応募締切り
- 11月13日(日) 理事会 日本美術教育研究論集編集委員会(投稿論文を査読社に郵送)  
造形・美術教育フォーラム 会場未定
- 12月11日(日) 理事会 運営委員会 日本美術教育研究論集編集委員会 会場未定
- 12月11日(日) 選挙管理委員会 役員選挙 開票

### 平成 24 年

- 1月28日(土) 理事会 運営委員会
- 2月 連合ニュース第134号発行(平成24・25年度 役員公表)
- 3月31日(土) 日本美術教育研究論集45号 発行
- 4月 8日(日) 理事会 運営委員会 会場未定
- 4月22日(日) 公益社団法人 日本美術教育連合 第2回通常総会 会場未定



# 収 支 予 算 書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	4,000	4,000	0
② 受取入会金			
受取入会金	30,000	30,000	0
③ 受取会費			
受取正会員会費	1,050,000	1,150,000	△100,000
受取賛助会員会費	200,000	200,000	0
④ 事業収益			
論集広告料	200,000	200,000	0
論集掲載料	220,000	220,000	0
⑤ 受取補助金等			
寄付金収入	0	0	0
受取利息	1,000	1,000	0
経常収益計	1,705,000	1,805,000	△100,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
雑給	0	0	0
消耗品費	2,000	2,000	0
印刷製本費	750,000	800,000	△50,000
通信運搬費	280,000	300,000	△20,000
賃借料費	50,000	50,000	0
諸謝金	100,000	100,000	0
資料費	5,000	5,000	0
会議費	90,000	90,000	0
② 管理費			
給料手当	0	0	0
会議費	110,000	90,000	20,000
旅費交通費	10,000	20,000	△10,000
通信運搬費	40,000	40,000	0
消耗品費	5,000	10,000	△5,000
印刷製本費	5,000	20,000	△15,000
支払負担金	110,000	125,000	△15,000
計算書類作成費	130,000	130,000	0
雑損失			0
雑費	5,000	10,000	△5,000
経常費用計	1,692,000	1,792,000	△100,000
当期経常増減額	13,000	13,000	0
当期一般正味財産増減額	13,000	13,000	0
一般正味財産期首残高	4,641,356	5,236,563	△595,207
一般正味財産期末残高	4,654,356	5,249,563	△595,207
正味財産期末残高	4,654,356	5,249,563	△595,207

## 【国際局より】

---

大坪 圭輔

### ■InSEA ホームページと入会方法について

InSEA (International Society for Education through Art 国際美術教育学会) のホームページアドレスは、[<http://www.insea.org>] です。内容は「InSEA・Council・Event・Youth・Publications・Resources」に項目が分類されています。「Event」では予定されている各地域の会議などが紹介され、「Youth」では、子ども達の作品を見ることのできる世界の施設や組織の紹介や、国際的な子ども達のプロジェクトについての情報などが掲示されています。また、「Publications」では、「InSEA News」の pdf 版を見ることができます。英文による表示となっておりますが、インターネット閲覧ソフトに附属している和訳ソフトでも充分対応できますので、是非一度ご覧ください。

InSEA 会員の登録及び更新手続きを希望される場合も、このホームページの上部にある「join or renew」からネット上で手続きすることが可能です。現在会員登録料は次のようになっています。

- ・正会員 1年 45ドル    ・正会員 2年 85ドル    ・正会員 3年 125ドル
- ・学 生 1年 35ドル

支払いは小切手や現金を送付する方法と、各種カード決済も可能です。

## 【事業局より】

---

榎原 弘二郎

公益社団法人として新たに出発したもとの、美術教育を学校だけでなく、よりひろく捉えるとともに、また、会員の要求に沿いながら、新しい事業内容を企画立案していくことが必要になっています。

今年度は、例年同様に、

- 授 業 研 究 会
- 美術教育実践セミナー

を行なっていきます。そして、新しく研修会等も計画していきたいと思っています。

## 【 一次案内 】

1965年に東京で開催の歴史的な InSEA 世界大会を受け、翌年の11月24～25日に国立教育会館（現在の国立教育政策研究所）での第1回日本美術教育研究発表会から連続と引き継がれて本年で第45回目、公益社団法人になって初の開催です。今回は、造形表現・服飾美術・児童教育などの学科を擁し、造形美術表現や教員養成にも力を入れている東京家政大学で会場とすることができました。

美術教育に関する理論・実践研究や実践報告など、多くの方々の研究発表や参加をお待ちしています。

日本美術教育連合研究局長 山口 喜雄

## 参加要項

- 開催日時： 2011（平成23）年10月16日（日） 9時～17時30分（予定）
- 会場： 東京家政大学 120周年記念館 〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1  
※ 特別入試日のため正門のみ入場可  
経路の詳細は同大学HP（[http://www.tokyo-kasei.ac.jp/college/col\\_index.html](http://www.tokyo-kasei.ac.jp/college/col_index.html)）を参照願います。
- 参加費等： 参加費は無料、事前申し込みも不要です。会員以外の方でも参加できます。  
100部限定『日本美術教育研究発表会 2011 概要集』を当日希望者に200円で頒布します。
- 主催： 公益社団法人 日本美術教育連合
- 後援： 文部科学省（申請中）

## 〈口頭発表〉申込 8/23（火）必着

- 発表資格： 本会会員であること。新規入会希望者は、「入会申込書」を下記の URL から印刷し、「研究発表〈口頭発表〉申込書」と共に、事務局までお送りください。入会には、会員1名の推薦が必要です。身近に会員がいない場合は下記問合先にご相談下さい。入会時に、入会金3000円および本年度会費5000円の郵便振り込みが必要です。
- 発表時間： 研究発表〈口頭発表〉20分 質疑応答 5分 移動・準備 5分〔発表者総数により変更有〕
- 発表区分： A群・B群の2区分があり、「研究発表申込書」にどちらかを明記して下さい。  
A群 理論・実践研究論文（査読あり、投稿時に英文のサマリーが必要です）  
B群 実践研究報告等（査読あり）
- 発表方式： 申込時に希望機器を明記して下さい。①液晶プロジェクター（HD-D-Sub15ピン対応）、②スライドプロジェクター、③VHS ビデオデッキ、④実物投影機  
配布用のレジュメまたは資料等は、50～70部程度ご用意下さい。
- 発表申込： 「研究発表〈口頭発表〉申込書」の申込期限厳守 2011年8月23日（火）必着  
申込書記入は日本美術教育連合 HP 掲載の様式で、E-mail または郵送で送付して下さい。  
E-mail 送付先：nibuoya@cc.utsunomiya-u.ac.jp 山口喜雄（宇都宮大学）宛  
E-mail を送信後7日後以内に確認メールがない場合は、再度送信して下さい。  
郵送先：〒321-0848 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学教育学部 山口喜雄 宛  
郵送申込の場合も概要集転記のため下記①③⑤⑥はE-mail で全員必ず送付して下さい。  
封書表左下またはメールの見出しに「●2011連合発表申込」とお書き下さい。  
①発表者氏名・所属先・職位（複数の場合は全員／院生等は課程名・学年も記入）  
②発表者連絡先 自宅〒・住所（帰省先も）、電話（携帯）、メールアドレス  
③発表区分：A群・B群の別  
④発表方式の別  
⑤発表題目  
⑥概要文（600字以内）  
⑦『日本美術教育研究発表会 2011 概要集』1部200円をご希望の方は記入して下さい。  
上記①～⑦が不備の場合は〈口頭発表〉ができませんので、ご注意ください。

## 備考・問合先

- 参照 URL： <http://www.edu.gunma-u.ac.jp/bijutu/8-1>（運営委員・茂木一司作成／群馬大学）を参照。
- 当日時程： 9月下旬発行の『連合ニュース133号』に掲載し、会員に送付する予定です。
- 問合先： 研究局長・山口喜雄 〒321-0848 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学教育学部  
山口研究室 TEL&FAX 028(649)5364（直通）／E-mail nibuoya@cc.utsunomiya-u.ac.jp

# 第45号 日本美術教育研究論集 2012

## 【 投稿および掲載要項 】

研究論集編集委員会

### 投 稿 要 項

- 投稿条件： 第45回日本美術教育研究発表会の研究発表者は、『第45号 研究論集 2012』に投稿できます。投稿論文の研究論集への掲載は、次の(1)～(5)の条件を全て満たしたものに限り、  
(1) 投稿原稿が、研究発表会における発表内容と基本的に同じ内容であること。  
(2) 投稿原稿が、研究論集の要項に適合して、書式・分量等が守られていること。  
(3) 掲載料を期日(2011年11月8日)までに納入していること。(非掲載の場合は返金します)  
(4) 作品の図版や写真・VIDEO映像等の著作物を利用する場合および写真等の肖像権は、投稿者が必ず事前に著作権者・出版社・所有者・本人もしくは保護者等の許諾を得ること。  
引用文献には、脚注または本文中に発行所・出版年・該当頁等の出典を明記すること。  
(5) 研究論集編集委員会において、投稿原稿の掲載が妥当と判断されること。
- 論文査読： A群(理論・実践研究論文)・B群(実践研究報告等)ともに複数の査読委員が査読を行い、編集委員会での審議を経て投稿原稿掲載の可否を決定します。掲載が決定した論文は、各主査がまとめて論評し、各論評を研究論集の〈論評の部〉に掲載します。
- 原稿書式： A群・B群ともに、本文および図版(写真・表・図等)等、英文サマリー(A群のみ)を含め、下記の文字数を守って下さい。  
1頁分は、**A 4横組 2段 23字×44行×2段=2024字**です。  
第1頁のみ第1行目から第5行目(2段取り)までに、題目(副題)・所属・氏名を記載し、本文との間に1行(2段取り)のスペースを空け、本文は、7行目から書き始めます。  
『第43号 研究論集 2010』『第44号 研究論集 2011』を参照して下さい。
- 掲載要項： A群・B群ともに原則として8頁とし、  
掲載料は一般(給与を得ている内地留学生等を含む)は10,000円、院生・学生5,000円です。  
2頁増ごとに6,000円を加算し、10頁では一般16,000円、院生・学生11,000円です。  
増頁の上限は12頁で、一般22,000円、院生・学生17,000円です。  
原稿は、①ワープロ等で印字し、②テキスト形式で保存したCD-R等を合わせて提出すること。  
CD-R等の未提出の場合は、一般・学生とも加工料込み30,000円です。  
カラーページは1頁につき12,500円を加算します。  
**掲載料は投函以前に納入し、送金の証明書(利用明細書のコピー等)を同封して下さい。**  
口座記号番号：00170-1- 86036 (右寄せで記入) 郵便振込です。  
加入者名：社団法人日本美術教育連合  
ご依頼人：(〒)おところ・おなまえ・電話番号・所属  
通 信 欄：例 掲載料 10,000円(一般、8頁) + 増頁分 6,000円(2頁増の場合) = 16,000円(計10頁)

### 〈投稿原稿〉 11/8 (火) 必着

- 投稿〆切： 2011(平成23)年11月8日(火)必着。A群・B群とも、  
①正1部と副4部(コピー可)計5部、②原稿CD-R等、③送金証明書を提出して下さい。  
投稿原稿は、完全原稿とし、締め切り期日以降の差し替え・変更は認めません。  
ただし、研究論集編集委員会が修正を求めるときは、この限りではありません。  
なお、発行日は2012(平成24)年3月31日を予定しています。
- 送付先： 〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1 筑波大学附属小学校内  
公益社団法人日本美術教育連合 研究論集編集委員会 宛

### 連絡・問合せ先

- 詳細連絡： 研究発表会当日に詳細を連絡します。口頭発表者は時程と場所を二次案内で確認して下さい。  
□問合せ先： 研究論集編集委員長 小林貴史：042-637-8111(代) ktakashi@zokei.ac.jp (東京造形大学)

公益社団法人 日本美術教育連合 入会申込書 (学生・一般)  
○で囲んで下さい

公益社団法人 日本美術教育連合  
理事長 宮坂 元裕 様

日本美術教育連合への入会を申し込みます。

平成 年 月 日

ふりがな  
氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

■ 現住所 〒 \_\_\_\_\_

電話・FAX (自宅) または携帯 \_\_\_\_\_

■ 勤務先・職名

(学生は学校名・学年(専攻名)) \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

電話・FAX (勤務先) \_\_\_\_\_

■ Eメール \_\_\_\_\_

■ 帰省先 (※ 夏・年末・春等に帰省される方は帰省先の住所・電話：現住所が同一の場合は以下空欄)

住所 〒 \_\_\_\_\_

電話・FAX (帰省先) \_\_\_\_\_

上記の方を会員として推薦いたします。

平成 年 月 日

会員氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

※ 送付先・問い合わせ先 〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1 筑波大学附属小学校  
公益社団法人 日本美術教育連合 事務局長 西村 德行 宛  
TEL+FAX 03-3946-1962 (図工部直通)  
E-mail:tnishimura@elementary-s.tsukuba.ac.jp

※ 送付と同時に以下の要領で入会金と年度会費の「郵便振込」をお願いいたします。  
口座記号番号：00170-1- 86036 (右寄せで記入)  
加入者名 : 社団法人 日本美術教育連合  
通信欄 : 入会金3,000円 (入会時のみ) + 平成23年度会費5,000円=8,000円  
ご依頼人 : おところ (〒) ・おなまえ (電話)

公益社団法人 日本美術教育連合  
理事長 宮坂 元裕 様

●日本美術教育研究論集第45号への投稿(有料)が可能です。  
ご希望の「発表区分」および頁数に○をつけて下さい。  
発表区分 A群 理論・実践研究論文(査読あり・要英文サマリー)  
B群 実践研究報告等(査読あり)  
頁数 【8・10・12】頁 (他、カラー頁有料 挿入可です)  
\*論集原稿の締め切りは、平成23年11月7日(月)消印有効です。

「第45回日本美術教育研究発表会2011」での研究発表を申し込みます。

平成23年 月 日

ふりがな  
氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

■ 現住所 〒 \_\_\_\_\_

電話・FAX(自宅)または携帯 \_\_\_\_\_

■ 勤務先・職名

(学生・院生は大学名・学年(専攻名)) \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

電話・FAX(勤務先) \_\_\_\_\_

■ Eメール \_\_\_\_\_

■ 発表時使用機器 (次の機器が使用可能です。ご希望の機器番号に○印をつけて下さい)

- ①液晶プロジェクター(HD-D-sub15ピン対応)      ②スライドプロジェクター  
③VHSビデオモニター      ④実物投影機

※液晶プロジェクター利用ご希望の方へ:

接続コネクタはHD-D-sub15ピン対応のため、対応する接続ケーブルを各自でご持参下さい。  
接続可能か不明の場合は、電気店等でお訪ね願います。  
また、プロジェクター以外の機器類(パソコンやMOドライブ、変換ケーブル等)も各自でご持参下さい。

■ 帰省先 (※夏・年末・春等に帰省される方は帰省先の住所・電話:現住所が同一の場合は、以下空欄)

住所 〒 \_\_\_\_\_

電話・FAX(帰省先) \_\_\_\_\_

■ 研究発表申込書郵送先: 〒321-0848 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学教育学部 山口喜雄 宛

※封書表左下に「連合発表申込」とお書き下さい。

■ E-mail・申込期限: 平成23(2011)年8月23日(火)必着

※E-mail/nobuoya@cc.utsunomiya-u.ac.jp 山口喜雄(宇都宮大学)宛

発表題目 \_\_\_\_\_

発表概要(別にメールで nobuoya@cc.utsunomiya-u.ac.jp(山口喜雄)までお願いします)

メールの記載内容は、①氏名・所属先・職位(学生は大学名・課程名・学年)  
②発表題目      ③概要文(600字以内)

メールの見出しは「●2011 連合発表申込/氏名」と必ずご記入ください。

メールの送付締め切り日も、平成23(2011)年8月23日(火)です。

## 日本美術教育連合は公益社団法人となりました

### ごあいさつ

ご承知の通り、全国に24000ある社団及び財団の法人は、公益法人制度改革によって平成25年11月までに一般法人または公益法人のどちらかを選択しなければならない義務が生じました。

私たち日本美術教育連合は昭和28年（1958）に設立され、昭和40年（1965）社団法人となって以来、美術教育の普及・発展を願い研究活動は言うに及ばず様々な活動を行ってまいりました。このたび平成23年3月3日に公益社団法人認定書が内閣総理大臣より交付され、正式に「公益社団法人日本美術教育連合」の設立に至りました。登記された日を設立日としますので設立日は平成23年（2011）3月25日となります。

この制度改革は、公益性を厳しく審査し、公益性の高い団体には手厚い税の優遇処置を行い、一般法人は税の優遇処置を行わないところに特徴があります。

公益には「みんな（社会）のための利益」という意味が含まれています。公益社団法人とは、一つの目的のために公益事業を行う人々の集団という意味です。日本美術教育連合が公益社団法人になったということは、今までの、さまざまな活動が国に認められたということでもあります。喜ばしいと同時に強い責任を感じております。

### 公益法人のメリットを列挙します。

- 1 公益事業を行おうとするとき、講師を依頼する、会場を借りる、文部科学省や地方公共団体などから後援を受ける、等のことが行いやすくなります。
- 2 税の優遇措置によって寄付金が受けやすくなります。
- 3 公益目的事業に総収入の75.2%を使えるように設定しました。その特典を使い、公益目的事業を行うと、その収益の75.2%を次の公益目的事業に使うことができます。私たちの努力次第で、ますます日本美術教育連合を発展させる事が出来ます。
- 4 将来、文部科学省などに「請願」しなければならない問題が起こった時、公益社団法人から出された請願書は、上層部まで通達されるはずで、（過去の事例からの類推）

以上の他にもメリットは増えていくでしょう。

日本美術教育連合の「連合」という名称は成立時に InSEA の大会を日本で開くために全国の団体が集まって結成されたことに由来します。しかし社団法人になるとき団体の集合体では認可されず、それぞれの団体に所属する個人が自分の意思によって社団法人を作りました。そのとき「連合」の名称を残したのです。

この出自が語るように、だれでも入会できる団体なのです。そして日本の研究を世界に広めるという役目も担っているのです。

上記のことをお汲み取りくださいまして、今後とも、ぜひ御支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

平成23年3月25日

## 事務局便り

### ■平成22年度 会員の異動

#### 平成22年度退会者

東 裕子 遠藤友麗 辰巳 豊 秦野玲子 渡辺和伸 王 文純

#### 平成22年度入会者

江渡英之 甲田小知代 齋上康子 佐藤真帆 秀 琴 谷口小津江  
中村和世 山岸弘一郎

### ■平成23年度(2011年度)会費納入のお願い

#### 本年度会費納入のお願い

**平成23年度会費 5,000円 を 納入してください。**

納入期限 2011(平成23)年9月1日(木)

\*同封の振り込み用紙をご利用ください。(手数料はご負担ください。)

お名前を記載した振込用紙に、**納入済みの方は○**、**未納の方は-**が印字されています。  
ご確認ください。

\*平成19年度より会費の納入をお願いしておりますが、会員の皆様からの納入状況は決してよくありません。今一度、会員の意識にたち、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

#### ▲3年以上の会費未納の皆様へ

\*平成22年度から、過去3年以上、会費未納の方につきましては、今回ご入金いただけない場合、「除名」という対応をとらざるを得ません。納入にご協力ください。

\*納入期限：平成23年9月1日(木)

今回の納入のお願いと行き違いで納入済みの方には、失礼をお許しください。

■お問い合わせ先：事務局 筑波大学附属小学校図画工作科研究部 西村 德行  
〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1 筑波大学附属小学校  
TEL+FAX 03-3946-1962 (図工部直通)  
E-mail tnishimura@elementary-s.tsukuba.ac.jp  
【郵便振替】社団法人 日本美術教育連合 口座番号 00170-1-86036